

生活者ネットワーク わくわく通信

NO.128

生活者ネットワークの活動を報告します
Eメール fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp
ホームページ http://fuchu.seikatsusha.me/
浅田多津子 http://asada.seikatsusha.net/
前田 弘子 http://maeda.seikatsusha.net/
田村智恵美 http://tamura.seikatsusha.net/

2014年7月14日発行 生活者ネットワーク 発行責任者 前田弘子
〒183-0023 府中市宮町2-15-1 柏屋ビル1F T/F 042-360-4443

地域を歩いて まちの課題を見つけよう!

生活者ネットワークの まち歩き

2025年には団塊世代が75歳以上となり、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯が増えていきます。そのような状況になっても、地域に商店や医療や介護・生活支援のサービスがあり、近隣の人とのつながりがあれば安心して暮らすことができます。そのための施設や機能のネットワークである「地域包括ケアシステム」の仕組みづくりを市は現在、目指しています。生活者ネットワークでは市民の視点から、「地域包括ケアシステム」を考えようと、地域をくまなく歩いて、どんな問題があるか、何が必要かなどを検証する「まち歩き」を行ない、まちづくりの提案につなげる活動を行っています。

自転車は使わずに徒歩での外出が多くなりますが、日常の買い物をするお店、病院などが近くにあることでより自立した生活を送ることもできます。

美好町2丁目

地域に住む人と一緒に歩く(4月)

住宅地の道幅は広く、市が開発業者と景観協定を結んで建物の高さなどを取り決めて、まちづくりをしている一角もあります。都営・市営住宅、小児科医院、新設の保育所や公園もあり、子育て世代が住みやすい環境といえます。

くまなく歩いてみると細かいことも見えてきます。公園の入り口に道路との段差があり、車止めの柵が車いすの方のバリアになっていたり、国道の歩道に視覚障がい者のための点字ブロックがないところがありました。



▲美好町第3公園
出入りに段差がありました



◀景観協定による
まちづくりをした一角

清水が丘3丁目

多磨霊園駅からスタート(2月)

この地域は統計によると市内でも高齢化率が比較的高く、ひとり暮らし世帯も多い地域です。アパートが多くありましたが空き室が増えてきているところが目立ちました。買い物は主に多磨霊園駅周辺の商店街になりますが、この地域の南側はハケと呼ばれる崖線の下にあたり、駅までは登る坂で、高齢になれば買い物に行くのは大変だと感じました。また道路の幅が狭く、行き止まりが多いことから、災害時に避難経路がわかりにくいところが見えてきました。高齢になると車や



▼空き室が目立つアパート



▲すべての道をくまなく歩きます

高齢化の進む10年後の町を想像しながら、くまなくの地域を歩きました。これから地域の課題を見つける活動として「まち歩き」を続けたいと思います。

次回は7月22日(火)午前、北山町2丁目を予定しています。ぜひ一緒に歩きましょう。参加ご希望の方は生活者ネットワーク事務局までご連絡ください。
042・360・4443

解釈改憲を許さない!
生活者ネットワークは「6・30閣議決定阻止!抗議行動」に参加しました

安倍内閣が、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を行なう情勢であることから、6月30日、「戦争をさせない1000人委員会」の官邸前抗議行動に呼応し、東京・生活者ネットワークも抗議行動を行いました。「解釈で9条を壊すな!」「アメリカと一緒に戦争をするな!」と、危機感を持って、さまざまな表現で反対を訴える大勢の人々と共に、府中・生活者ネットワークも官邸前で声を挙げました。

しかしその翌日には、このような多くの立場からの反対や懸念、憤りの声を無視し、憲法解釈を変更し、閣議決定という協議だけで歴史的な決定がなされてしまいました。生活者ネットワークは、集団的自衛権の行使は海外での武力行使に道を開くものであり、日本国憲法の定める「平和主義」に背くとして、反対の声を挙げていきます。



6月議会より

田村智恵美 一般質問



学校給食の牛乳供給は より安心・安全な仕組みで

4月に雪印メグミルク(株)海老名工場で製造された学校給食用牛乳を飲んだ、3000人を超える小中学生が、味に違和感を訴え、その中に下痢や吐き気などの症状もあったと報道されました。

府中市でも、海老名工場から納品されていますが、供給前に中止の依頼があり、被害はありませんでした。味の違いは、特定のルートの原乳による「青草臭」だとされましたが、原因については特定できていません。

私たちは一昨年、雪印メグミルクが学校牛乳に新たな産地の原乳を加えることを知り、放射線量の情報を求めましたが、国の基準値以下であるとして公開はされませんでした。

事業者の決定は、東京都の学校給食会が行なっており、市が独自に決める仕組みではありません。今回の問題を受け、あらためて事業者の管理意識、情報公開の姿勢について疑問に思い、市が迅速な対応をするためにも直接事業者を選定できる仕組みに変えられないか質問しました。

市は、「安価で安定した供給が受けられるので、この制度を選んでいる」と言いますが、市が責任をもって子どもたちの学校給食の安心・安全を確保するためには、よりよい事業者

を直接選定できる仕組みに変えるべきと訴えました。



前田弘子 一般質問



障がいのあるお子さんの保護者に 付き添いは求めず、教育としての配慮を

今年1月、日本はあらゆる形態の障がいに基づく差別を禁止した「障害者権利条約」を批准しました。障害者基本法も改正され、教育においては、国も自治体も障がいのある児童・生徒と障がいのない児童・生徒が「共に学ぶ」ための配慮が求められています。障害者差別解消法も成立しました。

しかし府中市では、普通学級で学んでいる障がいのあるお子さんへ、保護者の付き添いを求めている実態があります。これは「共に学ぶ」ための配慮を行政が尽くしておらず、法の趣旨に反しており問題ではないかと質問しました。教育委員会は「現状では付き添いをお願いせざるを得ない場面がある」として、教員や学校支援員を拡充するなどの配慮をすることは難しいとの回答でした。

「共に生きる」大切さは子どもたち同士が教育の場で学び合うことであり、保護者の負担に依らず教育委員会が予算をつけて配慮すべきだと訴えました。

大規模な学校給食センター建設は 計画の見直しを

学校給食センターの建て替え計画がいよいよ、調布基地跡地の土地購入に至っています。しかし購入予定の敷地が狭いため、1階と2階に分けて調理する計画が示されました。2万2千食もの給食を複数階で調理する施設は他に例がありませんが、市は建設費や調理の動線を詳細に示していません。自校式の給食施設を残す案や複数の施設を作る案との建設費などの比較検討も行ない、示すべきだと訴えましたが、市は「設計の委託業者を8月に決め、来年2月までに整備内容を定める」とし、他の案は考えないとの回答です。

建設予定地について、市は狭いことは認めています。「これ以上の適地はない」と言いますが、しかし、計画の詳細が不明確なままの土地購入には反対だと訴えました。

公立保育所が再編され 役割が拡がる

報告 田村智恵美

今ある15か所の公立保育所のうち基幹保育所として、6か所(東・小柳・三本木・本町・北山・西)を残し、市が直営で運営することになります。それ以外の9か所のうち、南保育所は民営化、朝日保育所は東保育所に統合、美好保育所も西保育所に統合が決まりました。

基幹保育所では、子どもを預かって保育をするだけではなく、これからは在宅の子育て家庭に対する訪問支援や地域の子育てサークルのネットワーク作りを目指しています。保育所内に子育てひろばや相談等ができるスペースを確保し、担当者も増員されます。

府中市では、7割もの家庭が3歳までは在宅で子育てをしています。地域とのつながりも薄く、子育てに不安を抱える家庭には、支援が届くことが大切です。このような行政にしかできない事業を通して、公が担うべき役割を果たすことを、今回の再編に期待します。

お知らせ

ぜひご参加ください

学習会
在宅での医療・介護の連携について考える
～家で死ぬこと考えたことありますか?～
7月26日(土) 14時～16時30分
ルミエール府中・2階・講習会議室
講師：地域看護専門看護師・宮田乃有さん

わくわくまちづくりトーク
7月29日(火) 10時～12時
グリーンプラザ 6階 和室
6月議会と「まち歩き」の活動を報告します。

わくわくサロン
生活者ネットワーク福祉部会の子育て、介護、何でも相談おしゃべりの会です。
7月25日(金) 14時～ 生活者ネット事務所

福島・南相馬市 視察報告と学習会
9月6日(土) 15時～17時
グリーンプラザ 第5会議室
お話：杉内 清繁 さん
(南相馬農地再生協議会代表)

4月の南相馬市視察では、放射能汚染により生活基盤を奪われた農業者の現状を知りました。その報告と、農業の再生に取り組む杉内さんを南相馬から招き、課題や今後の展望を伺います。